



環境政策における権利の初期配分と費用負担の問題

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 / 環境経済学、法と経済学、環境政策

小祝 慶紀 KOIWAI Hironori
教授、博士（経済学）



1. 研究内容

環境と所有権の関係について研究をおこなっています。当該研究の基礎となっている理論が、「コースの定理」と呼ばれるものです。コースの定理は、社会的費用の重要性と所有権のあり方を示唆した重要な定理です。研究の主題とする環境汚染に対する汚染者への費用等の負担に関する「汚染者負担の原則」についても、コースの定理に基づき研究を行っています。また、都市の環境政策として「空中権」の研究も行っています。

2. 地域・産学連携の可能性

環境問題は、私たちの社会・経済活動がその根源でもあります。したがって、環境問題を経済的側面から考え、地域経済と環境政策の両分野を融合させ、様々な課題にアプローチしていくことは非常に有益です。

地域の抱える環境問題に対して、企業や行政と連携し、問題発生メカニズムを解明し、解決へ向けての取り組むことは重要です。

法律、経済、などの社会科学的見地から企業の環境対策、行政のまちづくりのための環境政策の手法を構築することなど、地域との連携の可能性は沢山あります。

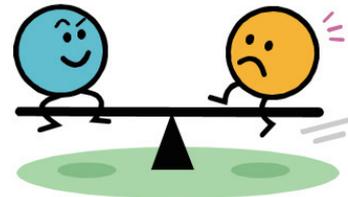
環境と経済をいかにして両立していくかを研究しています

環境

環境保全、生態系保護、リサイクル、グリーン購入、NPO活動、エコバッグ、エコファンド、環境教育...

経済

環境と経済、温暖化防止、環境と企業経営、ISO14001、社会貢献、環境法制度...



執筆論文

2014年「わが国の公害問題等に伴う費用負担について－諸制度に関する汚染者負担の原則からの考察－」『社会環境論究』第6号 PP.1-20.



所有権、環境権、汚染者負担の原則、取引費用、経済学、ミクロ経済学、基礎法学